

【件名】

第2次中野区地域情報化推進計画改定版（案）について

【要旨】

第2次中野区地域情報化推進計画改定版（案）（以下「案」という。）を作成したので、第2次中野区地域情報化推進計画改定版（素案）（以下「素案」という。）に対する意見交換会等の結果と合わせて報告する。

1 素案に関する意見交換会等の実施結果について

(1) 意見交換会

開催日時	会場	参加者数
11月5日（日）14時30分～	中野区役所	0人
11月9日（木）10時～	オンライン（Zoom）	0人
11月10日（金）10時30分～	南中野区民活動センター	1人
11月10日（金）18時30分～	野方区民活動センター	0人
計		1人

(2) 区民から電子メール等で区に寄せられた意見

件数：1件（内訳：電子メール1件、ファクス0件、窓口0件）

(3) 関係団体等からの意見聴取

団体数：2団体（いずれも電子メール）

(4) 素案に対する主な意見の概要及びそれに対する区の考え方

別紙1のとおり

2 パブリック・コメント手続の実施について

(1) 実施期間

令和5年12月20日（水曜日）～令和6年1月19日（金曜日）

(2) 周知方法

なかの区報12月20日号及び中野区ホームページへの掲載等により周知する。

3 今後のスケジュール（予定）

令和5年12月 案に関するパブリック・コメント手続の実施

3月 計画改定版の策定

素案に対する主な意見の概要及びそれに対する区の考え方

No.	主な意見	区の考え方
第1章 中野区地域情報化推進計画について		
1	「2021年に策定した5年計画を中間の3年目に見直すもの」と謳っているが、3年目の分析がされていないように見える。	計画は計画期間において概ね3年ごとを取組を見直すこととしているが、計画策定から現在までの間において区を取り巻く情報化の現状等に変化はあったものの、計画そのものを見直すまでには至っていないと捉えている。 一方、計画において取り組む事業は計画策定後の検討や進捗状況等によって変化していることから、令和5年度において取組内容の更新を行う。
第5章 目標と情報化に向けた取組		
2	成果指標に対する現状値が記載してあるが、令和4年度時点での数値があった方がよい。当初、現状といった表記があるとわかりやすい。	計画改定版素案については、当初計画を大幅に変えるのではなく、新たに追加した項目を第6章にまとめたため、現状値は変更せずそのまま示した。令和4年度のデータはあるため、わかりやすい形で掲載する。
3	第6章を追加したのに合わせて、目標や指標は変更しないのか。変更しないなら再掲してほしい。	目標値は変更しない。第6章に再掲する。
第6章 見直し後の情報化に向けた取組		
4	目標に対する具体的な実施結果はどのように検証され、どこでいつ示されるのか。	計画の進捗状況については、年度ごとに確認した上で、区ホームページで公開している。
5	区のホームページについて、情報が一元的に検索できるように、対象者や行事、事業、活動、援助等ごとに情報を横断的に提供するページの設置や、検索窓の設置を行ってほしい。また、担当部門の連絡先も表示されていない。	区ホームページでは、分野別・ライフシーン別に情報を探せるサイト構成とし、トップページにはサイト内検索できる検索窓を設置している。また、イベントを日付・ジャンル別に検索できるイベントカレンダーや、課ごとに電話番号やメールアドレスを掲載した区の組織一覧のページを設置している。 今後も、必要な情報をわかりやすく提供できるよう、運用していく。
6	デジタルデバイドについて、本当に支援が必要な人々に対する具体的な施策が不足している。区の管理業務の効率化と同時に、弱者に対する温かみのある施策を希望する。	現在実施しているスマートフォン講習会やタブレット講習会への参加者の声等を参考に、様々な方のニーズをとらえた施策を検討していく。
7	町会のICT化に関して、当事者は、具体例がないとイメージしにくい為、先行団体の事例等の提示が必要だと思う。	引き続き情報を収集しながら、活用しやすい事例の展開について検討していく。

※区分整理の関係から、提出された意見の分割や同趣旨の意見等の統合を行っている場合がある。また、個別性の高い意見については掲載を省略している。